

写真で眺める
オセアニア州



いろいろな人がくつろいでいるね。
オーストラリアでは、肉料理をよく食べるのかな？



↑1 オペラハウスの前でくつろぐ人々（オーストラリア、シドニー、2016年3月）
オペラハウスはオーストラリアを代表する建物の一つです。📍 p.122



[Destination NSW]

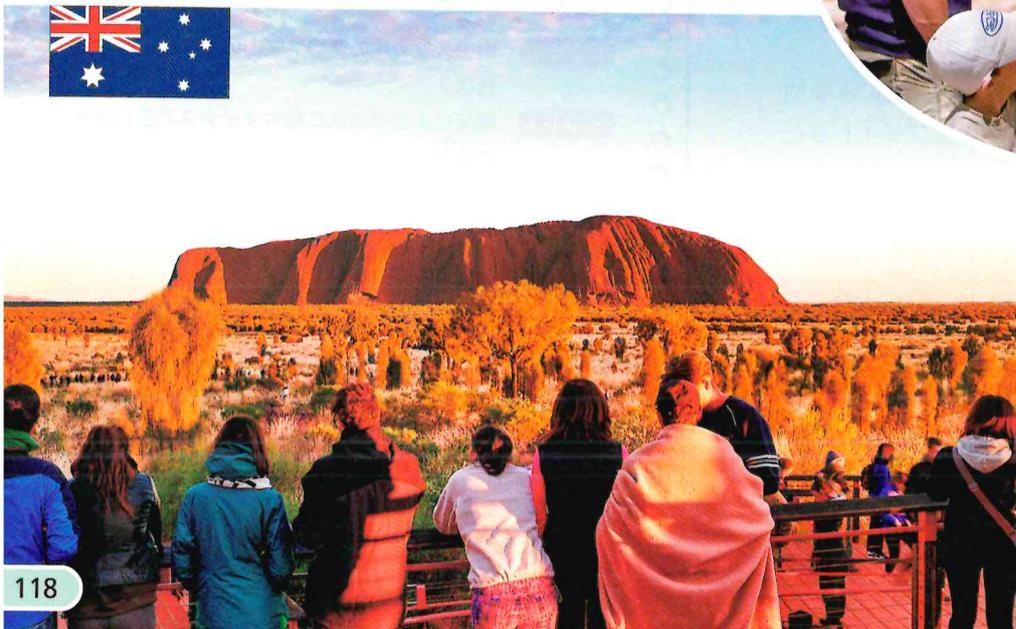
↑2 オペラハウスの近くの公園でバーベキューを楽しむ人々（オーストラリア、シドニー）📍 p.124

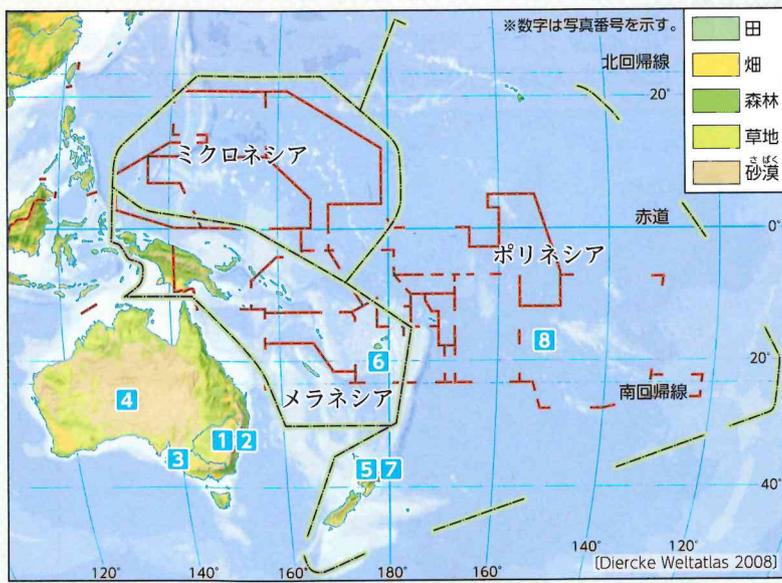


↑3 コアラと触れ合う人々（オーストラリア、アデレード）📍 p.120

←4 先住民の聖地ウルル（エアーズロック）（オーストラリア、2019年8月）📍 p.123

ほかでは見られない景観や動物を見に、たくさんの方が訪れているんだね。





↑5祭りで伝統的な踊りをみせるマオリの人々(ニュージーランド、ロトルア近郊、2019年6月) ↻ p.123

地図帳活用
オセアニア州の鳥瞰図を眺めよう。



↑6さまざまな野菜や果物が並ぶ市場(フィジー、スバ、2017年3月) ↻ p.122



↑7間欠泉を見る観光客(ニュージーランド、ロトルア、2020年3月) ↻ p.120



↑8ボラボラ島のビーチリゾート(フランス領ソシエテ諸島、5月) ↻ p.121、122

オセアニア州の学習を見通そう → p.127の振り返りでは、あなたの考える「写真で眺めるオセアニア州」をつくらう

この節では、特に写真1にみられるような「他地域との関係」を主題に、オセアニア州がどのような特色をもつ地域なのか、学習していこう。

見逃しスライド



6節の問い オセアニア州では、他地域との結びつきの変化によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。



↑2 オーストラリア大陸周辺の自然

←1 太平洋に浮かぶサンゴ礁の島々(パラオ)
写真はロックアイランドとよばれるダイビングスポットで、世界複合遺産にも登録されています。

1

オセアニア州の自然環境



学習課題

オセアニア州は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。

		オセアニア 6.5				
面積	1億3009万km ²	アジア 23.9%	ヨーロッパ 17.0	アフリカ 22.8	北アメリカ 16.4	南アメリカ 13.4
人口	79億7510万人	アジア 59.2%	ヨーロッパ 9.3	アフリカ 17.9	北アメリカ 7.5	南アメリカ 5.5

※ロシアはヨーロッパ州に含む。(2022年) (Demographic Yearbook 2022)

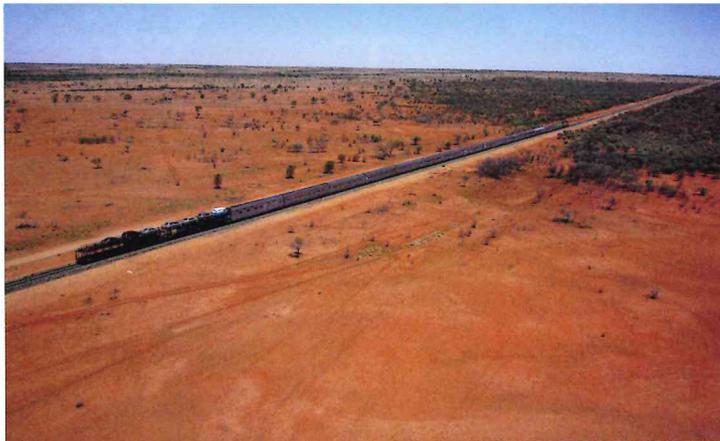
↑3 世界に占めるオセアニア州の割合

① ミクロネシアは「小さい島々」、メラネシアは「黒い島々」、ポリネシアは「多くの島々」という意味です。

オーストラリア大陸と太平洋の島々

オセアニアは、南半球にあるオーストラリア大陸をはじめ、ニューージーランド、パプアニューギニア、そして太平洋に位置する多くの島々からなる地域です。さらに、ニューージーランドと太平洋の島々は、ミクロネシア、メラネシア、ポリネシアの三つの地域に分けられます。

オーストラリア大陸は、大規模な地震や火山がない安定した地域で、その大部分は標高500m以下のなだらかな平原となっています。一方、ニューージーランドやパプアニューギニアは、日本と同じように地震や火山が多いので、たびたび大きな災害に見舞われます。ニューージーランドでは、地熱発電や、温泉を生かした観光が早くから行われてきました。また、ニューージーランドの南島には標高3000mを超える山々がいくつも連なっており、山々にある氷河が作り出した雄大な自然景観は、観光資源にもなっています。



↑4 オーストラリア内陸部の乾燥した大地(アリススプリングス近郊、9月) 内陸の荒野は、アウトバックとよばれています。



↑5 羊の放牧(ニュージーランド、クライストチャーチ近郊、2019年12月) 資料活用 写真4との違いに注目しよう。

未来に向けて 地球温暖化による影響と危機 環境・エネルギー

世界の海面は20世紀の間に20cmほど上昇し、今世紀末までにさらに数十cm上昇すると予測されています。このことは太平洋にある標高の低いサンゴ礁でできた島々に暮らす人々にとって、深刻な危機として受け止められています。平均標高が1m余りしかないツバルでは、波による海岸侵食が激しさを増し、大潮のときには冠水の被害が広がるようになりました。そのためツバルでは、国際社会に対して、地球温暖化(→p.156)の原因となる温室効果ガス削減への取り組みをよびかけています。



↑6 海面上昇によって冠水する集落(ツバル、フナフティ)

太平洋には、火山活動によってできた火山島や発達したサンゴ礁に取り囲まれた島々があります。こうした島々には、美しい風景を求めて世界中から多くの観光客が訪れています。

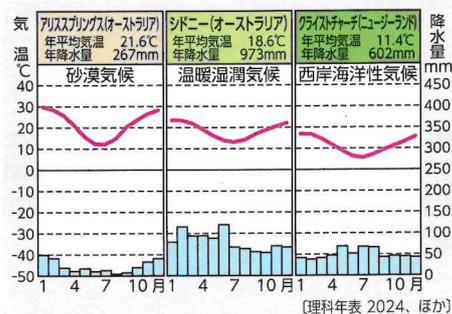
5 降水量が異なる オーストラリア大陸は、年降水量500mm オセアニアの気候 未満の地域が全体の3分の2を占めています。

特に、内陸では降水量が極めて少なく、乾燥した草原や砂漠が広がっているため、人口が非常に少ない地域となっています。その一方で、大陸の南東部や南西部は、比較的降水量が多い温暖湿潤気候や地中海性気候の地域となっており、農業も盛んに行われています。

10 そのため、人口の大部分はこうした緑豊かな地域に集まっています。

ニュージーランドは、ヨーロッパの西部と同じ西岸海洋性気候となっており、一年中適度な雨が降ります。このため、牧草がよく育ち、羊や牛などの牧畜が盛んな国となっています。

15 太平洋の島々は、雨の多い熱帯の地域ですが、海からの風が湿気を和らげるため、比較的過ごしやすい気候となっています。



↑7 オセアニア州の主な都市の雨温図 資料活用 北半球との違いに注目しよう。

地図帳活用

オーストラリアで人口密度が高い地域を確認しよう。

確認しよう オーストラリア大陸、ニュージーランド、太平洋の島々の地形の特徴を本文から書き出そう。

説明しよう オセアニア州の気候の特徴を、三つに分けて説明しよう。



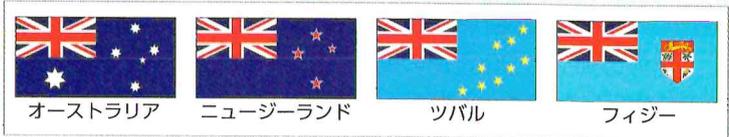
↑1 植民地時代のなごりをとどめるヨーロッパ風の駅舎(オーストラリア、メルボルン) **小歴公**

↑2 日曜礼拝のために教会に集まった人々(フィジー、ナンディ近郊) **小歴公**
フィジーには、キリスト教を信仰している人が多いです。



国旗に共通しているデザインは何だろう？

→3 オセアニアの国々の国旗 **小歴公**



2 移民の歴史と多文化社会への歩み

6節の問い オセアニア州では、他地域との結びつきの変化によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。



オセアニア州の文化の特色とその形成の経緯はどのようなものなのだろうか。

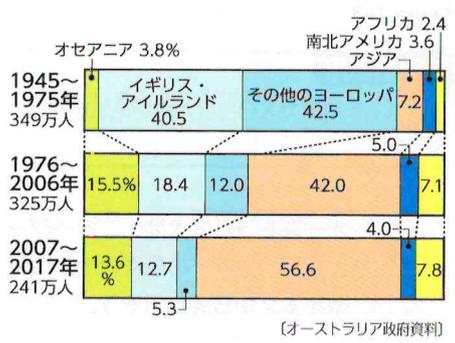
① 1901年にオーストラリア連邦が成立した際に制定された、白人以外の移民を厳しく制限する政策は白豪主義とよばれましたが、1970年代に撤廃されました。

植民地支配のなごり

オセアニアには、国旗のなかにイギリスの国旗が描かれている国や、現在でもフランス領になっている地域があります。また、ヨーロッパ風の建物や、キリスト教の教会などがみられる都市が各地にあります。これらは、オセアニアの国々が、20世紀初めまでイギリスやフランスなどの植民地だったことの名残りです。

オーストラリアの社会と移民

オーストラリアは、18世紀後半にイギリスの植民地となった後、主にイギリスからの移民によって開拓が進められたので、第二次世界大戦の直後までは、国民の大多数がイギリス系でした。第二次世界大戦後には、労働力不足を解消するために、イタリアやギリシャなどからの移民も多く受け入れることになりましたが、1970年代初めまではヨーロッパ以外からの移民は制限されていました。その後、ヨーロッパ諸国の少子化などにより、1970年代以降は移民政策が変更されたので、ベトナムをはじめとする東南アジアや中国、オセアニアの国々からの移民が増加してきています。このように、さまざまな地域からの移民とその子孫が、オーストラリアの社会をつくり上げてきました。



↑4 オーストラリアに暮らす移民の出身地の変化



↑5 絵を描くアボリジニ(オーストラリア、アリススプリングス近郊)



↑6 さまざまな民族の人が歩くシドニーの街角(オーストラリア、シドニー、2019年) 小歴公

声 アボリジナルアーティストの話

私たちアボリジニは、自然と人間の関係について独自の世界観をもっています。文字をもたなかったので、岩やみずからの体に描いた絵、音楽などを通して、その文化を伝えてきました。特に絵は、信仰の対象である自然や生き物などを、点や線を使って抽象的に描いているものが多く、アボリジナルアートとよばれて、観光客にも人気です。



もともとイギリスの影響が強かったオーストラリアの社会は、イギリス以外のヨーロッパやアジア各地からの移民が増加したことによって、さまざまな文化を互いに尊重し合う**多文化社会**へと大きく変化しました。オーストラリアの公用語は英語ですが、英語によって社会のまとまりを保つのと同時に、多文化に配慮した取り組みが進められています。例えば、テレビ放送やラジオ放送においては多言語放送が行われています。特にラジオは70近い言語で放送され、それぞれの言語別に放送時間が割り当てられています。また、学校教育においても、小学校の低学年からイタリア語やインドネシア語、日本語などの外国語の教育に力が入れられています。**Aボリジニ**を中心とする先住民の人々も、多文化社会の大切な一員として、彼らの社会的・経済的地位の向上や、独自の伝統文化を尊重するための努力が続けられています。

ニュージーランドも、主にイギリスからの移民によって国づくりが進められましたが、英語と共に先住民**マオリ**の言語が公用語とされ、国会でマオリの議席が確保されるなど、多文化社会の一員としてのマオリの文化や社会的地位を守る取り組みが進められています。また、オークランドなどの大きな都市では、マオリと共通の文化をもつポリネシアの島々からの移民も増えてきています。



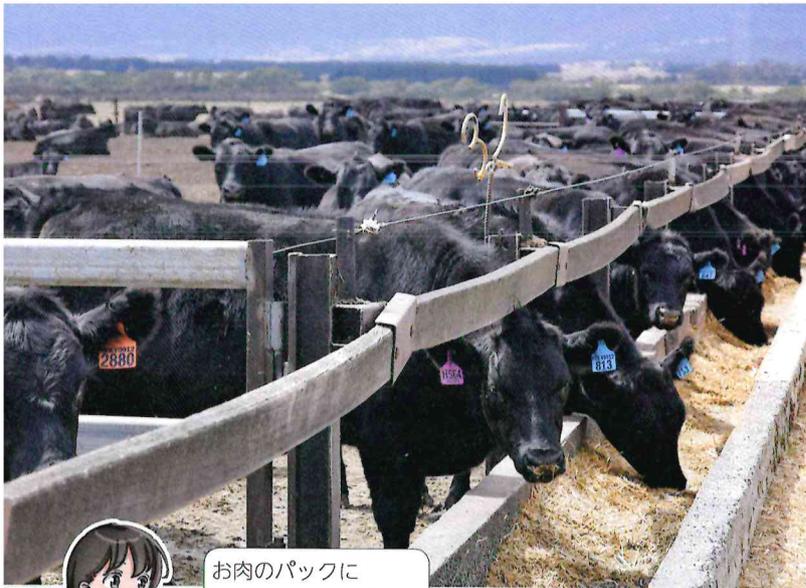
↑7 試合前にマオリの出陣の踊り「ハカ」を踊るラグビー ニュージーランド代表(アイルランド、ダブリン、2021年) イギリス生まれのスポーツに、先住民の文化(→p.119)が融合した例です。 小歴公



↑8 小学校で日本語を学ぶ子どもたち(オーストラリア、ブリズベン、2018年) 写真は小学4年生の教室です。

✓ **確認しよう** オーストラリアに暮らす移民の出身地の変化を、図4で確認しよう。

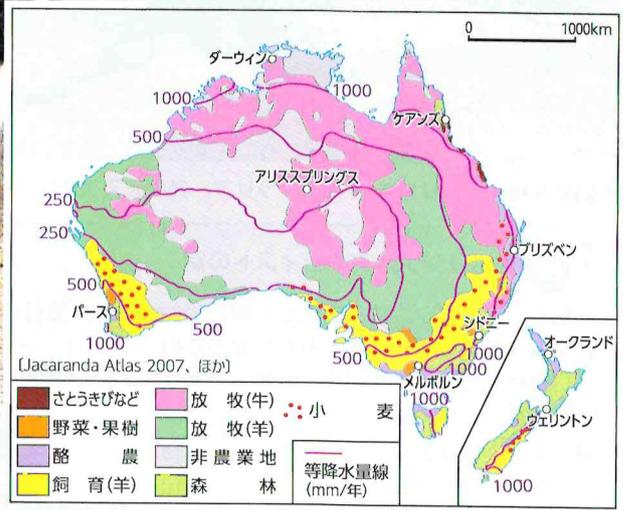
🗨️ **説明しよう** オーストラリアやニュージーランドが目指す社会の形と、その具体的な取り組みを説明しよう。



←1肥育場(フィードロット)で飼育される肉牛(オーストラリア、タスマニア州) 写真は、日本の大手スーパーマーケットが直営する牧場で、日本人の好みに合った肉牛が飼育されています。



お肉のパックに「オージービーフ」って書いてある牛肉を食べたことがあるよ!

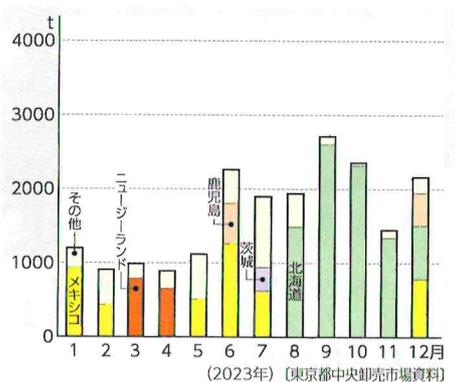


→2オセアニアの農業分布

3 他地域と結びついて発展する産業

6節の問い オセアニア州では、他地域との結びつきの変化によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。

① その年の作物が出始める直前の時期で、市場の流通量が最も少なくなる時期のことです。



↑3東京の卸売市場で取り扱われるかぼちゃの産地

地図帳活用
オーストラリアの鉱産資源が主にどこへ輸出されているのか、確認しよう。

オセアニア州の国々の産業の発展には、他地域との結びつきがどのような影響を与えているのだろうか。

自然環境を生かした農業
オーストラリアでは、肉牛の飼育が盛んです。肉牛は、降水量に恵まれ、餌となる穀物が栽培できる南東部では肥育場(フィードロット)で飼育され、乾燥の激しい内陸部では放牧で飼育されています。オーストラリアの牛肉は、「オージービーフ」という名前で日本などに輸出され、現在、小麦と共にオーストラリアを代表する輸出品になっています。また、南東部や南西部では羊毛用の羊が飼育されていますが、化学繊維が発達した今日では、羊毛の生産は減ってきています。

ニュージーランドは、一年中適度な雨が降るため、乳牛や肉用の羊の飼育が盛んで、乳製品や羊肉が重要な輸出品となっています。

南半球にあるオセアニアでは、北半球と季節が逆であることを生かした農業も盛んです。北半球の国々の端境期に合わせて、オーストラリアの南東部ではアスパラガスやぶどうなどが、ニュージーランドではかぼちゃなどが栽培され、日本などに輸出されています。

オーストラリアの鉱産資源
オーストラリアには、鉄鉱石や石炭、アルミニウムの原料となるボーキサイトなどの鉱産資源が豊富にあります。鉄鉱石は主に北西部、石炭は主に北東部・南東部で採掘され、鉄道で港に運ばれた後、日本や中国、韓国



- = 6 節の問い = 見方・考え方 他地域との結びつき (→巻頭 8)
- オセアニア州では、他地域との結びつきの変化によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。

節の振り返り 1 学んだことを確かめ、節の学習内容を振り返ろう 知識 地図帳活用

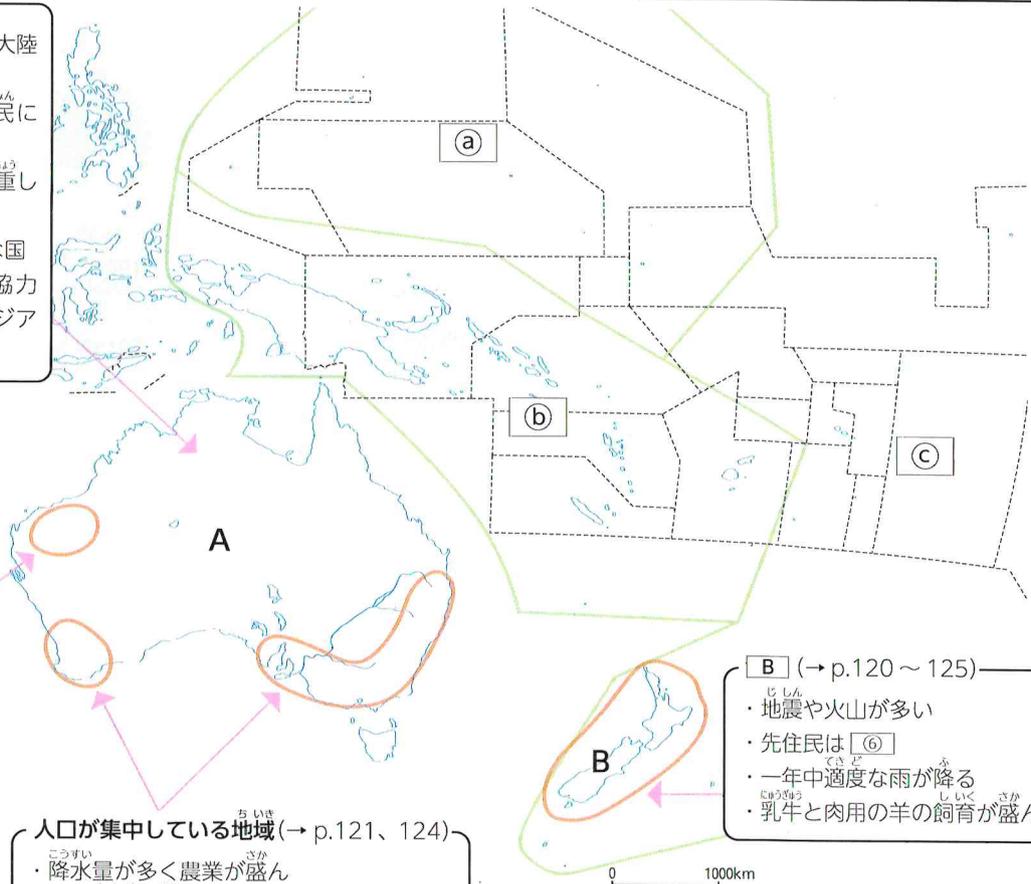
1. A と B にあてはまる国名を答えよう。
2. ㉔～㉖にあてはまる地域名を答えよう。
3. ①～⑥にあてはまる語句を、「節の重要語句」から選んで答えよう。

太平洋の島々 (→ p.120 ~ 121、125)

- ・ 三つの地域に分けられる
- ・ 火山島や ㉖ に取り囲まれた島々
- ・ 観光産業が重要な産業

A (→ p.120 ~ 125)

- ・ 地震や火山がない安定した大陸
- ・ ① を中心とする先住民
- ・ 主にヨーロッパからの移民によって開拓が進められた
- ・ さまざまな文化を互いに尊重し合う ②
- ・ 鉄鉱石などの ③ が豊富な国
- ・ 近年、アジア太平洋経済協力 (④) などによって、アジアとの結びつきを強めている



北西部 (→ p.124 ~ 125)

- ・ 鉄鉱石の鉱山が集中
- ・ 大規模な露天掘りという効率のよい採掘方法
- ・ 日本や中国、韓国などに向けて輸出

人口が集中している地域 (→ p.121、124)

- ・ 降水量が多く農業が盛ん
- ・ 羊の飼育が盛ん

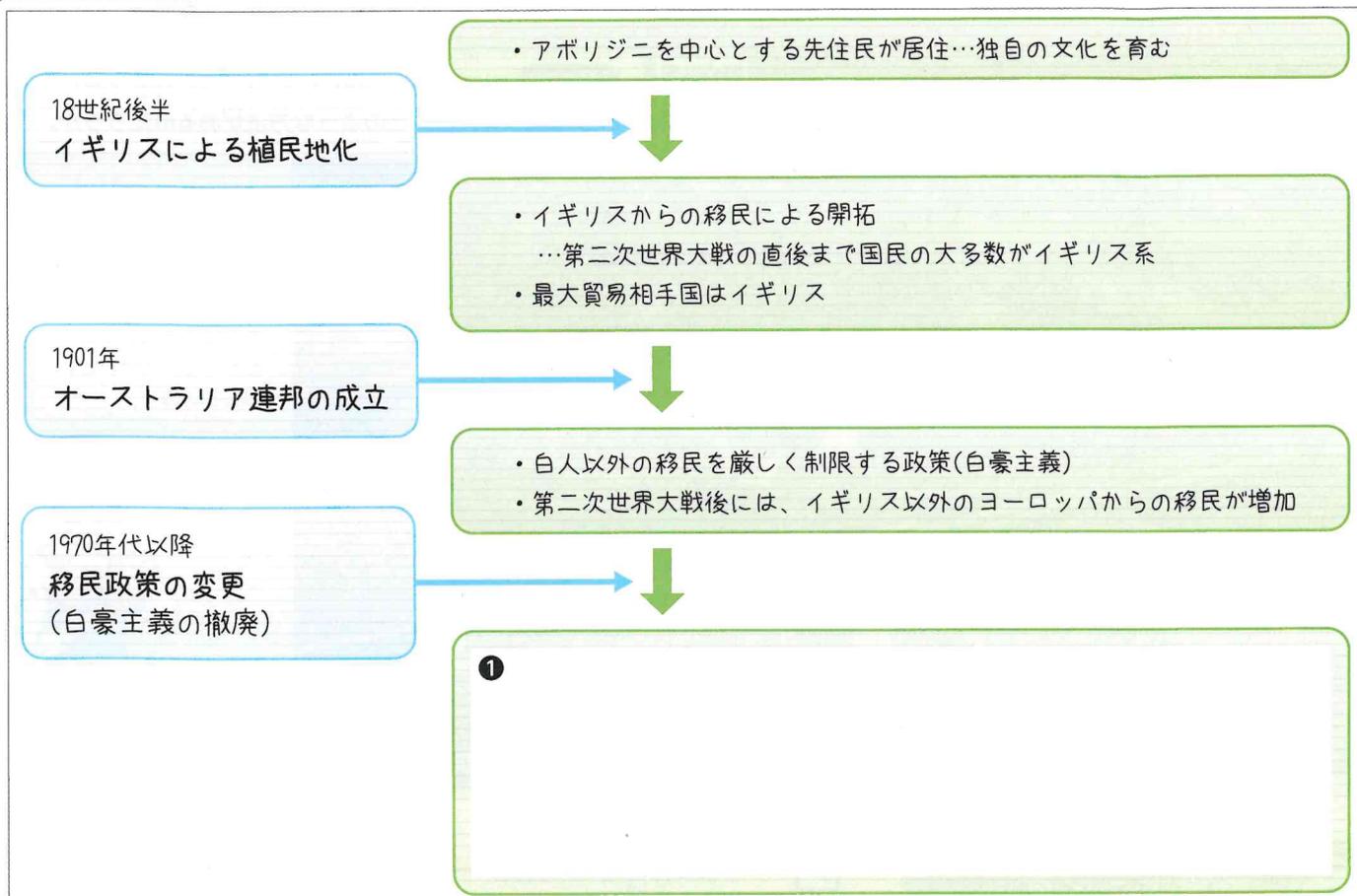
B (→ p.120 ~ 125)

- ・ 地震や火山が多い
- ・ 先住民は ⑥
- ・ 一年中適度な雨が降る
- ・ 乳牛と肉用の羊の飼育が盛ん

↑ 1 白地図を使ったまとめ

節の重要語句 簡単な説明ができた語句にチェックを入れよう。

- | | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> サンゴ礁 | <input type="checkbox"/> 移民 | <input type="checkbox"/> 多文化社会 | <input type="checkbox"/> マオリ | <input type="checkbox"/> APEC |
| <input type="checkbox"/> 植民地 | <input type="checkbox"/> 白豪主義 | <input type="checkbox"/> アボリジニ | <input type="checkbox"/> 鉱産資源 | |



↑ 2 オーストラリアにおける他地域との結びつきと地域への影響をまとめた例

思考ツール 巻頭9 ステップチャート

1 節の問いについて、図でまとめよう

◆この節の学習を振り返りながら、図2の①を埋めて、オーストラリアにおける、他地域との結びつきと地域への影響についてのまとめを完成させよう。

2 節の問いについて、考えを深めよう 🗨️ 対話 🗨️

◆図2をもとに、オーストラリアの他地域との結びつきとそれによる地域への影響を表す写真を、教科書やウェブサイトなどから1枚選ぼう。

◆グループになって、選んだ写真とその理由を発表し合おう。そして、あなたたちだけの「写真で眺めるオセアニア州(→ p.118～119)」をつくり、地域の特色を示すタイトルをつけよう。

3 節の問いを踏まえて地域の特色をまとめよう

◆図2と2をもとに、オセアニア州の特色を文章で簡単にまとめよう。

6節の問い

○
○
○
○
○
○
○
○
○
○

オセアニア州では、他地域との結びつきの変化によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。

ヒント1 オセアニア州の他地域との結びつきはどのように変化してきた？

ヒント2 結びつきの変化による人々の生活や文化、産業への影響は？

↶ 振り返り 主体的な学び

- 節の問いの解決に向けて主体的に取り組むことが
 - よくできた できた あまりできなかった
 - よくできた点や改善したい点などを書き出そう。
- 節の学習を終えて、新たな疑問や探究したいこと、深めたいことなどを書き出そう。